

(5) キャリア教養コース

教科科目	科目の特徴	科目の目標
20世紀の歴史と文明	平成の30年は、冷戦終結後の30年であり、バブル崩壊後の30年であり、テレビ時代の終わり、IT時代の始まりの30年である。この時代の30年の末に見えている風景は一体どのようなものか経済・政治・社会・文化それぞれの視点からふりかえる。	平成の時代をふりかえり、現在の私たちが向き合っている景色を歴史的・構造的に認識する知的考察力を獲得する。
外国語Ⅰ(英会話)	ペアワークまたはグループワーク中心の授業により、毎回英語を使います。語彙力とコミュニケーション的なアプローチで、外国の方々と交流するための基本の会話とフレーズを実際に使えるようになります。	英語の基本語彙や発音を覚え、様々なシチュエーションに基づいた「実際に使える英語」の習得をめざす。
情報処理演習Ⅰ	コンピューターおよび情報機器・媒体についての知識を学び、その操作・活用ができるようになると共に文部科学省後援の「文書デザイン検定試験」などの上級検定試験に対応した授業を進める。	社会人として保育園などで働く場合に求められる、コンピューターを活用する能力を習得する。
法学概論	法とはなにか、法の適用、裁判の基準となるもの、法の体系、日本国憲法などについて学ぶ。	現代社会を生きる市民として必要不可欠な法に関する知識を修得する。法とは何か、法の適用、日本国憲法の理念と基本、立憲主義などについて学ぶ。
ゼミナールⅠ	少人数の編成でディスカッションを積極的に採り入れ、学生の自発的な参加による双方向性の授業を展開していく。指導教員の下、ゼミ形式で、あるテーマに関する研究発表や議論・講読やボランティア活動などを展開する。	課題発見能力・レポートにまとめる能力。プレゼンテーション能力を養う。
キャリアデザイン概論Ⅰ	授業を通して様々な自分と出会い、自分発見をし、アイデンティティや自分の強みを見出す。他者の、自分とは異なる価値観・考えに触れ、受け入れることで視野を広げる。先の就職活動や社会に出ることへの内発的な動機付けをしたい。	様々な角度から自己分析し、アウトプット力を身につけ、就職活動における「自己PR」を自信を持って発言できるようになる。
キャリアデザイン概論Ⅱ	自由な発想、行動表現を培うために、自己肯定感が充実するように学ぶ。	演劇スキルを中心に、短期大学士としての教養を身につけ、就職活動に役立つ表現を学ぶ。
キャリア演習Ⅰ	学んだ教養をもとに主体的に考え、教育現場や福祉施設で行われる音楽療法やリミックの内容を学び、充実した人生を生きていこうとする意欲をつける。自分自身の考えを相手に効果的に表現できる能力を養う。	コミュニケーションツールとしての音楽について考えることができる。
キャリア演習Ⅱ	自己理解のために、自分の認知のクセやコミュニケーションスタイルなどを演習やワークを通して考え、他者を理解するために必要な相手の話を聞く力や共感性などについて、演習を通して体験的に学ぶ。	自己と他者についての理解を通して、人と人が互いに影響を及ぼし合う社会で必要となるコミュニケーションを考える力の獲得と目ざす。